

昭和58年4月にクラブ結成。当時は踊る楽しみを通して「健康づくり」「仲間づくり」を基本に、どろめ祭り・絵金祭り・文化祭など機会あるごとに出演。また文教福祉施設からの要請があれば出張出演をしてきたクラブです。

仲間の笑い声とかけ声 おらんくの踊りで元気に よいとよいとよいと

楽しい民踊を



土佐の赤岡ドロメの本場

よこしねえさんそれやでい
見せてやりたいひかせたい

赤岡民踊クラブ

長い年月の歩みの中「赤岡慕情・よさいこい鳴子踊り」「どろめ網曳き唄・どろめ音頭」を地元小中生徒に指導し、町の祭りにはパレード参加や、周辺老人施設へ積極的慰問に出向き、同クラブは、これまで、数々の賞を受賞されました。今年、文部科学省大臣賞を受賞。五代目会長久武美智子さんは「これは第一に会員間の融和と、野島昌子先生のひたむきな指導のおかげです。会員さんも、月4回夜7時からの練習を休むことなく、研鑽を積んできた賜物で、この表彰はクラブ会員の団結の賜物だと思っています」と言われました。

弁天座をまちの起点に

弁天座・絵金蔵についてお聞きしますと「念願の弁天座が竣工し、絵金蔵と相まって赤岡町の二大文化施設としての活用が約束されたのではないでしょう。平成19年9月16日『弁天座こけら落とし』には、赤岡慕情を皮切りに県内外13の民踊を2分間の着替いで発表し、大いに盛り上がりしました。踊りを通して昔ながらの商いのまち赤岡が甦る起爆剤になってほしいですね」と、こやかに話されました。

民踊クラブ員大募集

「このところクラブの高齢化が進み、私なりに若人の躍進がないと、各地区が徐々に衰退していくような気がしてなりません。野島先生は、弁天座で市内の各神社仏閣に残る子どもたちの伝承芸能を市民の前で発表する機会が欲しいとのこと。この意見に私も大賛成です。『香南市少年伝承芸能発表会』とでも銘打って市民に披露したいですね」という言葉をいただきました。今後のさらなる活躍を期待しています。



編集後記

あけまして
おめでとーございますー

モオッツと分かりやすく、みんなで頑張ります。どろぞ、皆さんの声もお寄せください！

今年もよろしく願います。

広報編集委員会一同

《広報へのメール》

kouhou@city.kochi-konan.lg.jp

《香南市のホームページ》

http://www.city.kochi-konan.lg.jp

市のうごき (H20. 11. 30現在) ()は昨年同月対比

- 人口/34,054人
- 世帯/13,810戸
(男/16,236人 女/17,818人)
- 出生/26人 ■死亡/32人
- 転入/90人 ■転出/60人
- 対前月比/24人増

- 11月の火災・救急事故
- 火災 0件(1件減)
- 救急 110件(29件減)
- 11月の交通事故
- 事故件数 15件(7件減)
- 死者 0人(1人減)
- 傷者 17人(7人減)